

補足情報

このたびは、弊社の FMV Mobile Keyboard をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこのマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

マニュアルについて

本製品の各部名称、接続、お使いになるまでの設定については、『取扱説明書』をご覧ください。
本製品の注意事項や詳細な使い方、仕様、廃棄・リサイクルなどについては、『補足情報』をご覧ください。
また、本製品を接続するパソコン／タブレットのマニュアルもあわせてご覧ください。

マニュアルの表記

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なる場合や、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略している場合があります。

操作手順について

- Windows は、機能の追加や改善、セキュリティの向上を目的とし、インターネットを通じて自動で更新されます。そのため、このマニュアルをご覧になる時期により、操作手順や画面に表示される内容などが変わる場合があります。
- このマニュアルでは、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を記述しています。
また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。
例：control + option + space キーなど

製品の呼び方

このマニュアルでは、製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	マニュアルの表記
FMV Mobile Keyboard	本製品
Bluetooth®	Bluetooth
Windows 11	Windows
Windows 10	

商標および著作権

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, LLC が所有する登録商標であり、富士通クライアントコンピューティング株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
iPad、iPadOS、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。
Copyright Fujitsu Client Computing Limited 2022

ペアリングをする（Windows の場合）

重要

- ▶ 本製品をお使いになる前に、パソコン／タブレット本体とのペアリングが必要です。
- ▶ パソコン／タブレット本体とのペアリングを 1 回行った場合、再度、ペアリングする必要はありません。
- ▶ パソコン／タブレットの初期化を行った場合などで自動的に接続できない場合は、再度、ペアリングを行ってください。

1 次の操作を行います。 ■ Windows 11 の場合

- (1)  →  (設定) → 「Bluetooth とデバイス」 → 「タッチパッド」の順にクリックします。
- (2) 「タッチパッド」の  (オフ) をクリックし、 (オン) にします。
- (3) 「タッチパッド」の  をクリックし、「マウスの接続時にタッチパッドをオフにしない」の ☐ をクリックし、☒ にします。
- (4) 画面左側の「Bluetooth とデバイス」をクリックし、画面右側の「デバイスの追加」をクリックします。

■ Windows 10 の場合

- (1) → (設定) → 「デバイス」 → 「タッチパッド」の順にクリックします。
- (2) 「タッチパッド」の (オフ) をクリックし、 (オン) にします。
- (3) 「マウスの接続時にタッチパッドをオフにしない」の ☐ をクリックし、☒ にします。
- (4) 画面左側の「Bluetooth とその他のデバイス」をクリックし、画面右側の「Bluetooth またはその他のデバイスを追加する」をクリックします。「デバイスを追加する」ウィンドウが表示されます。

POINT

▶ 「Bluetooth」が「オフ」の場合は、「オン」にします。

- 2 「Bluetooth」をクリックします。
- 3 電源スイッチを ON にします。
- 4 ペ어링先切り替えボタンを押し、設定したい番号のペ어링ランプを短い間隔で点滅させます。

POINT

▶ ペ어링ランプが短い間隔で点滅しない場合は、ペ어링先切り替えボタンを 3 秒長押ししてください。点滅しているペ어링ランプが、短い間隔の点滅に切り替わります。

Bluetooth デバイスの一覧に「FMVMobileKB」が表示されます。

- 5 「FMVMobileKB」をクリックします。
PIN (数字) が表示されます。
- 6 本製品で、表示された PIN (数字) をキー入力し、 を押します。
ペ어링が完了します。

POINT

▶ 再ペ어링する場合は、まず、パソコン／タブレットに登録したデバイスを削除してください。

- ・ Windows 11 の場合
 1. → (設定) → 画面左側の「Bluetooth とデバイス」の順にクリックします。
 2. 「FMVMobileKB (接続済み)」または「FMVMobileKB (ペ어링済み)」の右上にある をクリックし、「デバイスの削除」をクリックします。
 3. 「このデバイスを削除しますか？」というメッセージで、「はい」をクリックします。
 - ・ Windows 10 の場合
 1. → (設定) → 「デバイス」 → 画面左側の「Bluetooth とその他のデバイス」の順にクリックします。
 2. 「FMVMobileKB (接続済み)」または「FMVMobileKB (ペ어링済み)」をクリックし、「デバイスの削除」をクリックします。
 3. 「このデバイスを削除しますか？」というメッセージで、「はい」をクリックします。
- その後、手順 1 からペ어링を行ってください。

Fn キーを用いたペ어링をする (macOS Monterey、macOS Big Sur の場合)

重要

- ▶ 本製品をお使いになる前に、パソコン／タブレット本体とのペ어링が必要です。
- ▶ パソコン／タブレット本体とのペ어링を 1 回行った場合、再度、ペ어링する必要はありません。
- ▶ パソコン／タブレットの初期化を行った場合などで自動的に接続できない場合は、再度、ペ어링を行ってください。

- 1 ホーム画面下側の「システム環境設定」をクリックし、「Bluetooth」をクリックします。

POINT

▶ 「Bluetooth : オフ」の場合は、「Bluetooth をオンにする」をクリックし、「Bluetooth : オン」にします。

- 2 電源スイッチを ON にします。
- 3 ペ어링先切り替えボタンを押し、設定したい番号のペ어링ランプを短い間隔または長い間隔で点滅させます。

■ ペ어링ランプが短い間隔で点滅している場合

- (1) ペ어링ランプの点滅が消えるまで、1 分間待ちます。
- (2) を押しながらペ어링先切り替えボタンを 3 秒長押しします。
再度、短い間隔の点滅が始まります。

■ ペ어링ランプが長い間隔で点滅している場合

- (1) を押しながらペ어링先切り替えボタンを 3 秒長押しします。
点滅しているペ어링ランプが、短い間隔の点滅に切り替わります。
Bluetooth デバイスの一覧に「FMVMobileKB」が表示されます。

- 4 「FMVMobileKB」をクリックします。
パスコード (数字) が表示されます。
- 5 パスコード (数字) を入力します。
 - macOS Monterey の場合
 - (1) 本製品で、表示されたパスコード (数字) をキー入力し、 を押します。
 - macOS Big Sur の場合
 - (1) 本製品で、表示されたパスコード (数字) をキー入力し、 を押してから、macOS で表示された「接続」をクリックします。
ペ어링が完了します。

POINT

▶ 再ペ어링する場合は、まず、macOS に登録したデバイスを削除してください。

1. ホーム画面下側の「システム環境設定」をクリックし、「Bluetooth」をクリックします。
 2. 「FMVMobileKB (接続済み)」または「FMVMobileKB (未接続)」の右側にある「x」をクリックします。
 3. 「"FMVMobileKB" を削除してもよろしいですか？」というメッセージで、「削除」をクリックします。
- その後、手順 1 からペ어링を行ってください。

Fn キーを用いたペアリングをする（iPadOS 15 の場合）

重要

- ▶本製品をお使いになる前に、パソコン／タブレット本体とのペアリングが必要です。
- ▶パソコン／タブレット本体とのペアリングを1回行った場合、再度、ペアリングする必要はありません。
- ▶パソコン／タブレットの初期化を行った場合などで自動的に接続できない場合は、再度、ペアリングを行ってください。

POINT

- ▶iPadOS の場合、「Fn キーを用いたペアリング」により、スクロールを有効にすることができます。

- 1 ホーム画面下側の「設定」App をタップし、画面左側の「Bluetooth」をタップします。

POINT

- ▶「Bluetooth」がオフの場合は、オンにします。
- 2 電源スイッチを ON にします。
 - 3 ペアリング先切り替えボタンを押し、設定したい番号のペアリングランプを短い間隔または長い間隔で点滅させます。
 - ペアリングランプが短い間隔で点滅している場合
 - (1)ペアリングランプの点滅が消えるまで、1分間待ちます。
 - (2) **[Fn]** を押しながらペアリング先切り替えボタンを3秒長押しします。
再度、短い間隔の点滅が始まります。
 - ペアリングランプが長い間隔で点滅している場合
 - (1) **[Fn]** を押しながらペアリング先切り替えボタンを3秒長押しします。
点滅しているペアリングランプが、短い間隔の点滅に切り替わります。
「その他デバイス」の一覧に「FMVMobileKB」が表示されます。
 - 4 「FMVMobileKB」をタップします。
コード（数字）が表示されます。
 - 5 本製品で、表示されたコード（数字）をキー入力し、**[Enter]** を押します。
ペアリングが完了します。

POINT

- ▶再ペアリングする場合は、まず、iPadOS に登録したデバイスを削除してください。
 1. ホーム画面下側の「設定」App をタップし、画面左側の「Bluetooth」をタップします。
 2. 「自分のデバイス」の一覧の「FMVMobileKB（接続済み）」または「FMVMobileKB（未接続）」の右側にある「i」マークをタップし、「このデバイスの登録を解除」をタップします。
 3. 「“FMVMobileKB”の登録を解除しますか？」というメッセージで、「デバイスの登録を解除」をタップします。
その後、手順1からペアリングを行ってください。

入力モードについて

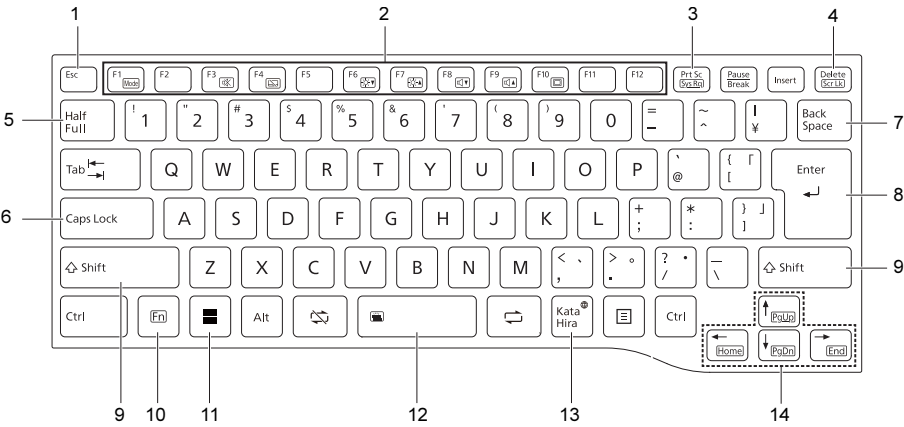
- 本製品には、入力モード A、B、C があります。入力モードによって、入力できるキーが異なります。詳しくは、次をご覧ください。
- 入力モード A：Windows と接続することを想定したモードです。詳しくは、「キーボードの各部の名称と働き（入力モード A の場合）」（→ P.4）をご覧ください。
 - 入力モード B：macOS と接続することを想定したモードです。詳しくは、「キーボードの各部の名称と働き（入力モード B の場合）」（→ P.5）をご覧ください。
 - 入力モード C：iPadOS と接続することを想定したモードです。詳しくは、「キーボードの各部の名称と働き（入力モード C の場合）」（→ P.6）をご覧ください。

入力モードを切り替えるには、**[Fn]** を押しながら **[F1]** を押します。設定されている入力モードは、点灯するペアリングランプの状態で見分かります。

入力モード	ペアリングランプ	動作対応 OS
A	ペアリングランプ 1、2、3 が点灯します。 Pause Break Insert Delete Scr Lk	Windows 11（64ビット版）、Windows 10（64ビット版）
B	ペアリングランプ 1、3 が点灯します。 Pause Break Insert Delete Scr Lk	macOS 12（Monterey）
C	ペアリングランプ 2、3 が点灯します。 Pause Break Insert Delete Scr Lk	iPadOS 15

キーボードの各部の名称と働き（入力モード A の場合）

動作対応 OS：Windows 11（64 ビット版）、Windows 10（64 ビット版）



- 1

Esc キー

現在の作業を取り消します。
- 2

ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。枠で囲まれた刻印の機能は、**[Fn]** を押しながらファンクションキーを押して使います。
- 3

Prt Sc キー

画面に表示されている内容を画像としてコピーできます。
- 4

Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。
- 5

Half Full（半角／全角）キー

キーを押すたびに、半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。
- 6

Caps Lock キー

[Shift] を押しながらこのキーを押して、英大文字入力／小文字入力を切り替えます。
- 7

Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。
- 8

Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。
- 9

Shift キー

このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。
- 10

F_n キー

[Fn] を押しながら枠で囲まれたキーやボタンを押すと、それぞれのキーやボタンに割り当てられた機能を使用することができます。

[Fn] + [F1]	： 入力モード A、B、C を切り替えます。
[Fn] + [M]	： ペアリングランプが点灯し、設定されている入力モードの状態がわかります。
[Fn] + [F3]	： 音声出力の ON／OFF を切り替えます。
[Fn] + [F4]	： フラットポイントの有効／無効を切り替えます。無効時、左右のクリックボタンは有効です。
[Fn] + [F6]	： 画面の明るさを暗くします。
[Fn] + [F7]	： 画面の明るさを明るくします。
[Fn] + [F8]	： 音量を小さくします。
[Fn] + [F9]	： 音量を大きくします。
[Fn] + [F10]	： 外部ディスプレイを接続した場合に、パソコン／タブレット本体のディスプレイと外部ディスプレイで表示先を切り替えます。
[Fn] + [Home]	： カーソルを行の最初に移動します。
[Fn] + [Page Up]	： 前の画面に切り替えます。
[Fn] + [Page Down]	： 次の画面に切り替えます。
[Fn] + [End]	： カーソルを行の最後に移動します。
[Fn] + ペアリング先切り替えボタン	： ペアリングランプが点灯し、現在接続しているペアリング先を表示します。 3 秒以上押した場合、「Fn キーを用いたペアリング」が開始します。Windows に再ペアリングした場合は一部機能が制限されます。詳しくは、「フラットポイントの使い方」(→P.7) をご覧ください。
- 11

Windows キー

「スタート」メニューを表示したいときに押します。
- 12

空白（Space）キー

- 空白を入力します。
 - [Fn]** を押しながらこのキーを押すごとに、キーボードバックライト（キーの印字および周囲のライト）の点灯／消灯が次のように切り替わります。
消灯 → 点灯（暗い） → 点灯（標準） → 点灯（明るい）

POINT

- ▶スリープから復帰（レジャーム）した後や、電源を切って入れ直した後も、キーボードバックライトの点灯／消灯は元の状態が維持されます。
- ▶キーボードバックライトは暗い場所でもキーボードを操作しやすくするための機能です。周囲の明るさに合わせて点灯／消灯を切り替えてお使いください。

13 Kata Hira（カタカナ／ひらがな）キー

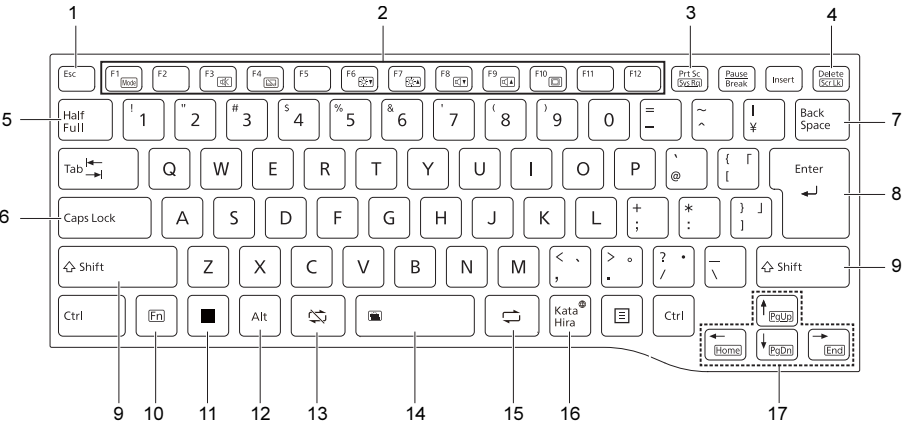
[Alt] を押しながらこのキーを押して、ローマ字入力／ひらがな入力を切り替えます。

14 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

キーボードの各部の名称と働き（入力モード B の場合）

動作対応 OS：macOS 12（Monterey）



1 Esc キー

現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。枠で囲まれた刻印の機能は、**[Fn]** を押しながらファンクションキーを押して使います。

3 Prt Sc キー

command + shift + 3 キーとして動作し、スクリーンショットを撮影します。

4 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

5 Half Full（半角／全角）キー

control + option + space キーとして動作し、入力言語を切り替えます。

6 Caps Lock キー

英大文字入力／小文字入力を切り替えます。

7 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

8 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

9 Shift キー

このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

10 Fn キー

[Fn] を押しながら枠で囲まれたキーやボタンを押すと、それぞれのキーやボタンに割り当てられた機能を使用することができます。

- [Fn]** + **[F1]**：入力モード A、B、C を切り替えます。
- [Fn]** + **[M]**：ペアリングランプが点灯し、設定されている入力モードの状態がわかります。
- [Fn]** + **[F3]**：音声出力の ON／OFF を切り替えます。
- [Fn]** + **[F4]**：フラットポイントの有効／無効を切り替えます。無効時、左右のクリックボタンは有効です。
- [Fn]** + **[F6]**：画面の明るさを暗くします。
- [Fn]** + **[F7]**：画面の明るさを明るくします。
- [Fn]** + **[F8]**：音量を小さくします。
- [Fn]** + **[F9]**：音量を大きくします。
- [Fn]** + ペアリング先切り替えボタン：ペアリングランプが点灯し、現在接続しているペアリング先を表示します。
3秒以上押した場合、「Fn キーを用いたペアリング」が開始します。詳しくは、「Fn キーを用いたペアリングをする（macOS Monterey、macOS Big Sur の場合）」（→P.2）をご覧ください。

11 Windows キー

command キーとして動作します。

12 Alt キー

option キーとして動作します。

13 無変換キー

英数キーとして動作し、英数入力に切り替えます。

14 空白（Space）キー

- 空白を入力します。
- [Fn]** を押しながらこのキーを押すごとに、キーボードバックライト（キーの印字および周囲のライト）の点灯／消灯が次のように切り替わります。
消灯 → 点灯（暗い） → 点灯（標準） → 点灯（明るい）

POINT

- ▶スリープから復帰（レジューム）した後や、電源を切って入れ直した後も、キーボードバックライトの点灯／消灯は元の状態が維持されます。
- ▶キーボードバックライトは暗い場所でもキーボードを操作しやすくするための機能です。周囲の明るさに合わせて点灯／消灯を切り替えてお使いください。

15 変換キー

かなキーとして動作し、かな入力に切り替えます。

16 Kata Hira（カタカナ／ひらがな）キー

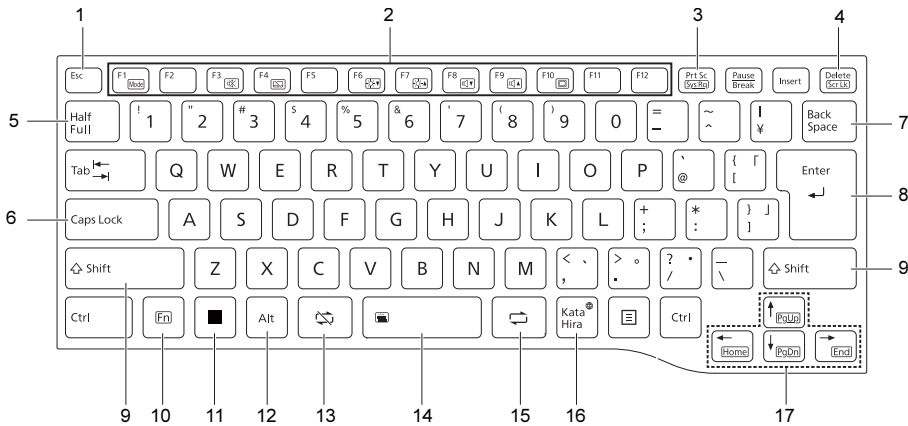
地球儀キーとして動作します。

17 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

キーボードの各部の名称と働き（入力モード C の場合）

動作対応 OS : iPadOS 15



1 Esc キー

現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。枠で囲まれた刻印の機能は、**[Fn]** を押しながらファンクションキーを押して使います。

3 Prt Sc キー

command + shift + 3 キーとして動作し、スクリーンショットを撮影します。

4 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

5 Half Full（半角／全角）キー

Caps Lock キーとして動作します。

6 Caps Lock キー

Caps Lock キーとして動作します。

7 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

8 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

9 Shift キー

このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

10 Fn キー

[Fn] を押しながら枠で囲まれたキーやボタンを押すと、それぞれのキーやボタンに割り当てられた機能を使用することができます。

- | | |
|---------------------------------|---|
| [Fn] + [F1] | : 入力モード A、B、C を切り替えます。 |
| [Fn] + [M] | : ペアリングランプが点灯し、設定されている入力モードの状態がわかります。 |
| [Fn] + [F4] | : フラットポイントの有効／無効を切り替えます。無効時、左右のクリックボタンは有効です。 |
| [Fn] + [F6] | : 画面の明るさを暗くします。 |
| [Fn] + [F7] | : 画面の明るさを明るくします。 |
| [Fn] + [F8] | : 音量を小さくします。 |
| [Fn] + [F9] | : 音量を大きくします。 |
| [Fn] + ペアリング先
切り替えボタン | : ペアリングランプが点灯し、現在接続しているペアリング先を表示します。
3秒以上押した場合、「Fnキーを用いたペアリング」が開始します。詳しくは、「Fnキーを用いたペアリングをする（iPadOS 15の場合）」（→P.3）をご覧ください。 |

11 Windows キー

command キーとして動作します。

12 Alt キー

option キーとして動作します。

13 無変換キー

英数キーとして動作し、英数入力に切り替えます。

14 空白（Space）キー

- 空白を入力します。
-  を押しながらこのキーを押すごとに、キーボードバックライト（キーの印字および周囲のライト）の点灯／消灯が次のように切り替わります。

消灯 → 点灯（暗い） → 点灯（標準） → 点灯（明るい）

POINT

- スリープから復帰（レジューム）した後や、電源を切って入れ直した後も、キーボードバックライトの点灯／消灯は元の状態が維持されます。
- キーボードバックライトは暗い場所でもキーボードを操作しやすくするための機能です。周囲の明るさに合わせて点灯／消灯を切り替えてお使いください。

15 変換キー

かなキーとして動作し、かな入力に切り替えます。

16 Kata Hira（カタカナ／ひらがな）キー

Caps Lock キーとして動作します。

 を地球儀キーとして使うためには、Caps Lock キーに地球儀キーを割り当てる必要があります。

- 本製品と iPad（iPadOS 15以降）を Bluetooth 接続または USB 接続します。
- 「設定」→「一般」→「キーボード」→「ハードウェアキーボード」の順に選択し、「修飾キー」をタップし、Caps Lock キーを地球儀キーに設定します。
Bluetooth 接続と USB 接続のそれぞれの場合で設定が必要です。

 を押しながら  を押すと、各アプリのすべてのショートカットを表示します。

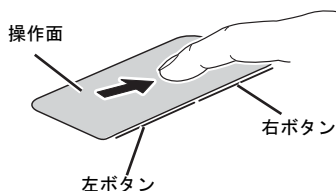
17 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

フラットポイントの使い方

Windows の場合

フラットポイントは、指先の操作でマウスポインターを動かしたり、画面やウィンドウの表示を切り替えたりすることができるポインティングデバイスです。操作面を指先でなぞることで、画面上のマウスポインターを移動させることができます。左右のボタンは、それぞれマウスの左右のボタンに相当し、その機能はアプリにより異なります。



■フラットポイントをお使いになるうえでの注意

- フラットポイントは操作面表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、ぬれた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいは操作面の表面が汚れている場合は、マウスポインターが正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- フラットポイントの操作面で操作するときは、指の先が接触するようにしてください。指の腹を押さえつけるように操作すると、マウスポインターが正常に動作しないことがあります。

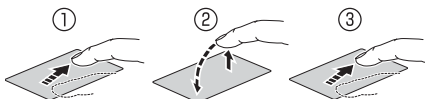
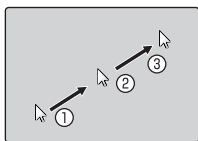
■フラットポイントの基本的な使い方

ここでは、フラットポイントの機能について説明しています。

- マウスポインター（）を移動させる

操作面を指先でなぞります。

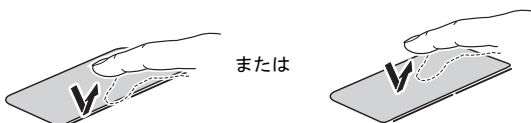
指が操作面の端まできたら、いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインター（）は動きません。



指を離している間、マウスポインターは動きません。

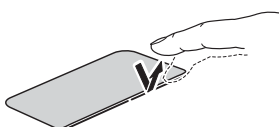
- クリック

左ボタンを1回押してすぐに離すか、操作面を1回軽くたたく（タップする）ことです。



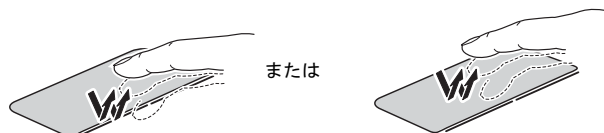
- 右クリック

右ボタンを1回押してすぐに離すことを「右クリック」といいます。



●ダブルクリック

左ボタンを2回連続して押すか、操作面を2回連続して軽くたたく（タップする）ことです。



●ポイント

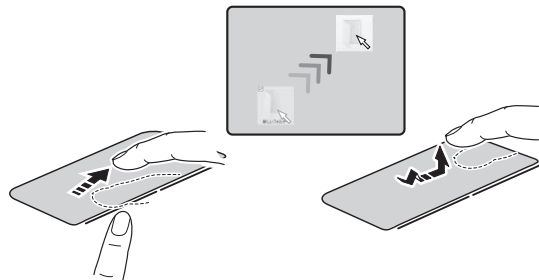
マウスポインター（）をアイコンやメニューなどに合わせることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されたりします。



●ドラッグ

アイコンやウィンドウを、マウスポインター（）でつかむようにして移動させることです。

左ボタンを押したまま操作面をなぞり、希望の位置で指を離します。または、操作面を素早く2回タップし、2回目のタップのときに指を操作面上から離さずになぞり、希望の位置で指を離します。



■各機能を設定する

必要に応じて、各機能の有効／無効の設定やジェスチャの割り当てを変更してください。

1 次の操作を行います。

■ Windows 11 の場合

(1)  →  (設定) → 「Bluetoothとデバイス」 → 「タッチパッド」の順にクリックします。

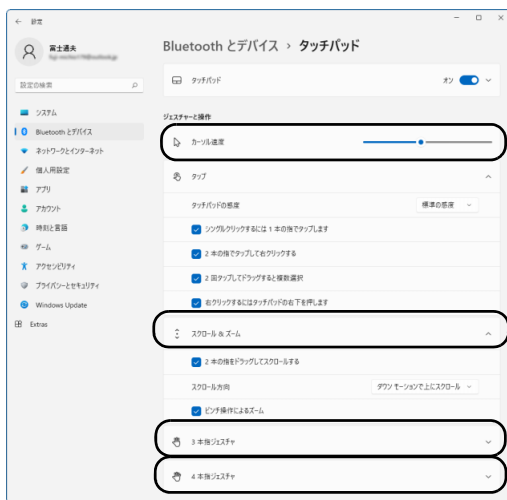
■ Windows 10 の場合

(1)  →  (設定) → 「デバイス」の順にクリックします。

(2) 画面左側の「タッチパッド」をクリックします。

「タップ」「スクロール&ズーム」「3本指ジェスチャ」「4本指ジェスチャ」などをクリックすると各設定項目が表示されます。

「タップ」「スクロール&ズーム」ではチェックボックスを ☐ にすると無効になり使えなくなります。☒ にすると有効になり使えるようになります。

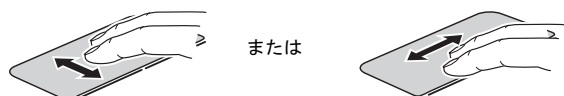


(画面は、お使いの OS や機種により異なります)

□スクロール&ズーム

●2本の指をドラッグしてスクロールする

フラットポイントの操作面の任意の位置に2本の指を置き、上下や左右になぞると画面やウィンドウのスクロールが行えます。

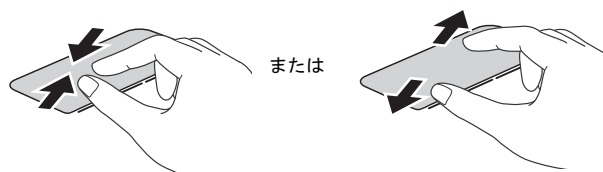


- ピンチ操作によるズーム

重要

▶「Fn キーを用いたペアリング」の場合は、使用できません。

フラットポイントの操作面で、2本の指でつまんだり開いたりする動作をします。
つまむ操作をすると画像やウィンドウ内の画面が縮小表示され、開く操作をすると拡大表示されます。

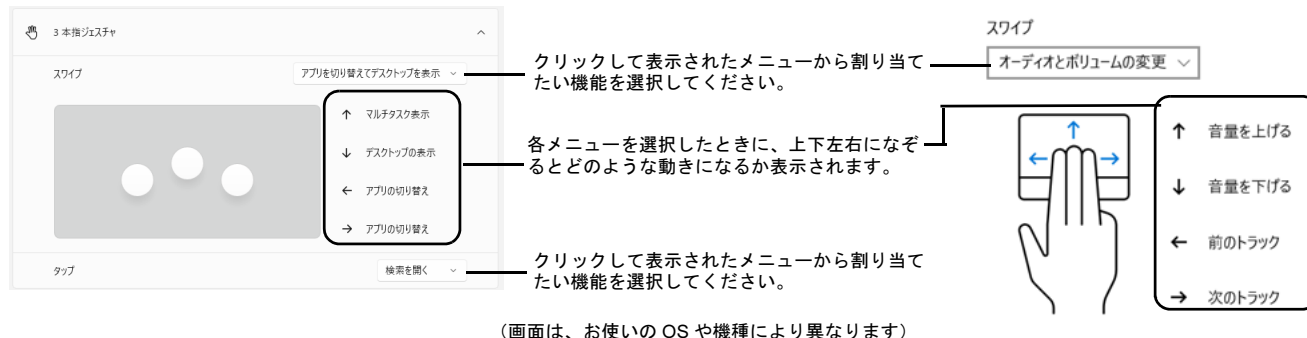


3本指ジェスチャ、4本指ジェスチャ

重要

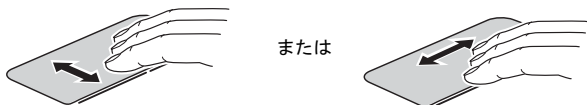
▶「Fn キーを用いたペアリング」の場合は、使用できません。

3本指スワイプ設定の場合の画面です。4本指の設定方法も同じです。



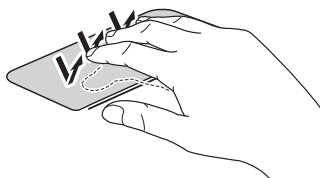
●3本指スワイプ、4本指スワイプ

フラットポイントの操作面に3本または4本の指を置いて、上下左右になぞることで操作できます。うまく反応しない場合は、指を少し離して操作してください。
アプリやデスクトップの切り替えや、オーディオとボリュームの設定などの操作を割り当てることができます。



●3本指タップ、4本指タップ

フラットポイントの操作面を3本または4本の指で、素早く1回たたきます。
検索する画面や通知センターを起動する、再生／一時停止、マウスの中央ボタンなどの操作を割り当てることができます。



うまく反応しない場合は、指を少し離して操作してください。

macOS の場合

macOS 12 (Monterey) にて、次の操作がマウスポインターとして動作します。

- マウスポインターを移動させる
- クリック
- 右クリック
- ダブルクリック
- ポイント
- ドラッグ
- スクロール

iPadOS の場合

iPadOS 15 にて、次の操作がマウスポインターとして動作します。

- マウスポインターを移動させる
- クリック
- 右クリック
- ダブルクリック
- ドラッグ
- スクロール

「Fn キーを用いたペアリング」が必要です。詳しくは、「Fn キーを用いたペアリングをする (iPadOS 15 の場合)」(→ P.3) をご覧ください。

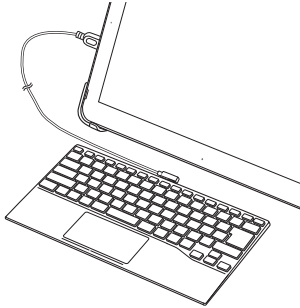
バッテリーを充電する

重要

- ▶ パソコン／タブレットが電源オフ、休止、スタンバイ状態の場合、本製品の充電ができないことがあります。
- ▶ バッテリーの残量がなくなった場合またはバッテリーの残量が 0% になった場合に充電を始めると、満充電までには約 3 時間〔注〕 かかります。
注：お使いの環境によって充電時間は異なります。
- ▶ バッテリーの消費の目安は、通常運用（毎日 8 時間の使用）で約 1 ヶ月です。

POINT

- ▶ USB ケーブルの接続時は、電源スイッチの位置にかかわらず、USB ケーブル経由で電源が供給されます。
- 1 添付の USB ケーブルをパソコン／タブレットの USB コネクタと本製品の USB Type-C コネクタに接続します。



- 2 充電が始まると、残量ランプが、白色または赤色に点灯または点滅します。
残量ランプは、そのときのバッテリーの残量に合わせ、赤色点滅→赤色点灯→白色点滅→白色点灯に切り替わります。
- 3 充電が完了すると、残量ランプが常時白色に点灯します。

トラブルシューティング

本製品から入力したキーボード／フラットポイント操作がうまく動作しない場合に、まず次の操作を行ってください。

- 1 電源スイッチを OFF にします。
- 2 本製品から USB ケーブルを取り外します。
- 3 再度、本製品に USB ケーブルを接続します。
- 4 Bluetooth 通信の場合は、電源スイッチを ON にします。

この操作をしても解決しない場合は、次の表をご覧ください。対処方法を行ってください。

現象	原因	対処
本製品からのキー入力／フラットポイント操作の一部がパソコン／タブレットに入力されないことがある。	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか本製品とパソコン／タブレットを添付の USB ケーブルで接続してください。USB ケーブルの接続方法については、『取扱説明書』をご覧ください。
	バッテリー残量が低下している可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。「ON」にしたときにバッテリー残量ランプが点灯しない場合や、赤色点灯／赤色点滅する場合は、残量が低下しています。本製品とパソコン／タブレットを添付の USB ケーブルで接続し、バッテリーを充電してください（→P.10）。
本製品からのキー入力／フラットポイント操作がパソコン／タブレットに入力され続ける。	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか本製品とパソコン／タブレットを添付の USB ケーブルで接続してください。USB ケーブルの接続方法については、『取扱説明書』をご覧ください。
本製品からキー／フラットポイントを数秒以上入力せず、その後キー入力／フラットポイント操作をすると、数秒間キー／フラットポイントがパソコン／タブレットに入力できない。	本製品およびパソコン／タブレットの省電力設定が影響している。	もう一度キーを入力するか、またはフラットポイント进行操作してください。 パソコン／タブレットの電源オプションの設定を変更してください（→P.12）。
本製品からキー／フラットポイントを数秒以上入力せず、その後キー入力／フラットポイント操作をすると、パソコン／タブレットにまったく入力できない。	パソコン／タブレットの省電力設定が影響している。	パソコン／タブレットの電源オプションの設定を変更してください（→P.12）。
USB ケーブルを接続していない状態で、Bluetooth 通信で本製品から入力したキー／フラットポイント操作が、パソコン／タブレットに入力できない。	電源スイッチが OFF になっている。	電源スイッチを ON にしてください。
	バッテリーが切れている。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。ON にしたときにバッテリー残量ランプが点灯しない場合、バッテリーが切れています。本製品とパソコン／タブレットを添付の USB ケーブルで接続し、バッテリーを充電してください（→P.10）。
	ペアリングの状態に問題がある。	本製品とパソコン／タブレットのペアリングをいったん解除し、再度ペアリングをしてください。ペアリングの方法については、「ペアリングをする（Windows の場合）」（→P.1）、「Fn キーを用いたペアリングをする（macOS Monterey、macOS Big Sur の場合）」（→P.2）、または「Fn キーを用いたペアリングをする（iPadOS 15 の場合）」（→P.3）をご覧ください。
	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったん OFF にして、再度 ON にしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか本製品とパソコン／タブレットを添付の USB ケーブルで接続してください。USB ケーブルの接続方法については、『取扱説明書』をご覧ください。

現象	原因	対処
USB ケーブルを接続し、USB 通信で本製品から入力したキー／フラットポイント操作が、パソコン／タブレットに入力できない。	電源スイッチがONになっている。	電源スイッチがONのときはBluetooth接続になります。電源スイッチをOFFにしてください。
	USB ケーブルが正しく接続されていない。	本製品とパソコン／タブレットからUSB ケーブルを取り外し、再度接続してください。USB ケーブルの接続方法については、『取扱説明書』をご覧ください。
	本製品は30分間入力がないと、バッテリーの消耗を抑えるためにBluetooth通信が切断されます。	もう一度キーを入力してください。
USB ケーブルを接続し、Bluetooth 通信で本製品から入力したキー／フラットポイント操作が、パソコン／タブレットに入力できない。	電源スイッチがOFFになっている。	電源スイッチがOFFのときはUSB接続になります。電源スイッチをONにしてください。
	USB ケーブルが正しく接続されていない。	本製品とパソコン／タブレットからUSB ケーブルを取り外し、再度接続してください。USB ケーブルの接続方法については、『取扱説明書』をご覧ください。
	ペアリングの状態に問題がある。	本製品とパソコン／タブレットのペアリングをいったん解除し、再度ペアリングをしてください。ペアリングの方法については、「ペアリングをする (Windowsの場合)」(→P.1)、「Fn キーを用いたペアリングをする (macOS Monterey、macOS Big Surの場合)」(→P.2)、または「Fn キーを用いたペアリングをする (iPadOS 15の場合)」(→P.3) をご覧ください。
	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったんOFFにして、再度ONにしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか本製品とパソコン／タブレットを添付のUSB ケーブルで接続してください。USB ケーブルの接続方法については、『取扱説明書』をご覧ください。
残量ランプが赤く点滅 (点灯) している。	バッテリー残量が低下している。	本製品とパソコン／タブレットを添付のUSB ケーブルで接続し、バッテリーを充電してください (→P.10)。
ペアリングランプが白く長い間隔で点滅している。	ペアリング済みのパソコン／タブレットを探している。または接続先を探している。	本製品のペアリング先切り替えボタンを複数回押すと、ペアリング先を切り替えることができます。数秒待つと点滅が点灯に代わり入力が可能になります。点滅が続くまたは点滅が止まっても入力できない場合は、本製品とパソコン／タブレットのペアリングをいったん解除し、再度ペアリングをしてください。ペアリングの方法については、「ペアリングをする (Windowsの場合)」(→P.1)、「Fn キーを用いたペアリングをする (macOS Monterey、macOS Big Surの場合)」(→P.2)、または「Fn キーを用いたペアリングをする (iPadOS 15の場合)」(→P.3) をご覧ください。
ペアリングランプが白く短い間隔で点滅している。	ペアリングモードになっている。	本製品の ペアリング先切り替えボタンを長押しすると、ペアリングモードとなります。60秒たつと点滅が止まり再度入力が可能になります。点滅が止まっても入力ができない場合は、本製品とパソコン／タブレットのペアリングをいったん解除し、再度ペアリングをしてください。ペアリングの方法については、「ペアリングをする (Windowsの場合)」(→P.1)、「Fn キーを用いたペアリングをする (macOS Monterey、macOS Big Surの場合)」(→P.2)、または「Fn キーを用いたペアリングをする (iPadOS 15の場合)」(→P.3) をご覧ください。
Caps Lock ランプが点滅している。	Caps Lock がONになっている状態で、本製品が省電力状態に入っている。	本製品は省電力のため、Caps Lock がONの状態ではキー入力をした瞬間にだけ、Caps Lock ランプが点灯します。そのためキー入力中はランプが点滅しているように見えますが、正常な動作ですのでそのままお使いください。
フラットポイントが動作しない。	本製品のフラットポイント機能が無効になっている。	本製品はキー入力時の誤操作を防ぐためにフラットポイント機能の有効／無効を切り替えることができます。 [Fn] を押しながら [F4] を押して、フラットポイントを有効にしてください。
	周囲の電波状況が悪い可能性がある。	電源スイッチをいったんOFFにして、再度ONにしてください。現象が改善されない場合は、設置場所を変更するか本製品とパソコン／タブレットを添付のUSB ケーブルで接続してください。USB ケーブルの接続方法については、『取扱説明書』をご覧ください。
	Windows のタッチパッドの設定が影響している。	次の設定を行ってください。 ● Windows 11 の場合 1.  →  (設定) → 「Bluetooth とデバイス」→ 「タッチパッド」の順にクリックします。 2. 「タッチパッド」の  (オフ) をクリックし、  (オン) にします。 3. 「タッチパッド」の  をクリックし、「マウスの接続時にタッチパッドをオフにしない」の  をクリックし、  にします。 ● Windows 10 の場合 1.  →  (設定) → 「デバイス」→ 「タッチパッド」の順にクリックします。 2. 「タッチパッド」の  (オフ) をクリックし、  (オン) にします。 3. 「マウスの接続時にタッチパッドをオフにしない」の  をクリックし、  にします。
ペアリング後使用できない。再接続できない。	フラットポイントの認識に失敗している。	通常のペアリング方法の代わりに「Fn キーを用いたペアリング」をお試しください。「ペアリングをする (Windowsの場合)」(→P.1) の手順4の操作を、次の手順に読み替えて、設定してください。 4 ペアリング先切り替えボタンを押し、設定したい番号のペアリングランプを短い間隔または長い間隔で点滅させます。 ■ ペアリングランプが短い間隔で点滅している場合 (1) ペアリングランプの点滅が消えるまで、1分間待ちます。 (2) [Fn] を押しながらペアリング先切り替えボタンを3秒長押しします。再度、短い間隔の点滅が始まります。 ■ ペアリングランプが長い間隔で点滅している場合 (1) [Fn] を押しながらペアリング先切り替えボタンを3秒長押しします。点滅しているペアリングランプが、短い間隔の点滅に切り替わります。 Bluetooth デバイスの一覧に「FMVMobileKB」が表示されます。
	macOS Big Sur でペアリングするとき、パスコード (数字) の入力後に、 [Enter] を押し忘れている可能性がある。	次の手順で再度ペアリングをお試しください。 本製品で、表示されたパスコード (数字) をキー入力し、 [Enter] を押してから、macOS で表示された「接続」をクリックします。
	iPadOS でペアリング時のコードの入力を間違えている。	再度ペアリングをお試しください。 詳しくは、「Fn キーを用いたペアリングをする (iPadOS 15の場合)」(→P.3) をご覧ください。

- 4.「設定」または「バッテリー駆動」「電源に接続」メニュー右にある下矢印をクリックし、すべてを「無効」に設定します。
- 5.「OK」をクリックします。
8. 設定を有効にするために、パソコン／タブレットを再起動します。

お手入れについて

- 本製品の汚れを取る場合
 - ・アセトン、シンナー、ベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきん、除光液、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は絶対に使わないでください。
 - ・アルコール成分を含んだ市販のクリーナーは使わないでください。
 - ・爪や指輪などで傷を付けないように注意してください。
 - ・OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布を使って軽く拭き取ってください。
 - ・汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取り、中性洗剤を使用した場合は、水に浸した布で拭き取ってください。また、拭き取るときは、マウスに水が入らないよう充分に注意してください。
- キーボードのキーとキーの間のほこりを取る場合
 - ・ゴミは吹き飛ばして取らないでください。キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となります。また、掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。
 - ・ほこりなどを取る場合は、柔らかいブラシなどを使って軽くほこりを取り除いてください。そのとき、毛先が抜けやすいブラシは使用しないでください。キーボード内部にブラシの毛などの異物が入り、故障の原因となる場合があります。

仕様一覧

品名	FMV Mobile Keyboard
キー配列	OADG 109A 準拠配列（テンキーレス 86 キー）
キーピッチ	19mm
キーストローク	1.5mm
インターフェース	・ Bluetooth 5.0 (Bluetooth Low Energy) ・ USB2.0 Type-C コネクタ
チルト機構	なし
ロールオーバー機能	あり
温湿度条件	温度 5～35℃／湿度 20～80%RH（動作時） 温度 -10～60℃／湿度 20～80%RH（保管時） （ただし、動作時、保管時とも結露しないこと）
USB ケーブル（添付品）	・ USB ケーブル（Type-C to Type-A）、長さ 1m ・ USB ケーブル（Type-C to Type-C）、長さ 1m
外形寸法（幅×奥行×高さ）	約303mm×約162mm×約11mm（突起部含まず）
質量	約338g（添付のUSBケーブル含まず）
定格消費電力	2.5W
動作対応OS ^{〔注1〕}	Windows 11（64ビット版）、Windows 10（64ビット版）、macOS 12（Monterey）、iPadOS 15
バッテリー連続使用時間 ^{〔注2〕}	約1ヶ月
バッテリー充電時間	約3時間

注1：2020 年以降に販売開始されたパソコン／タブレット本体を対象とします。

注2：バッテリーの連続使用可能時間の目安は、バックライトが消灯の状態で毎日 8 時間使用し、未使用時は電源スイッチを OFF にして、約 1ヶ月です。ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。

FMV Mobile Keyboard 補足情報 B6FY-5731-01 Z0-00

発行日 2022 年 6 月
発行責任 富士通クライアントコンピューティング株式会社

〒 212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田 1-1-2 新川崎三井ビルディング（ウエストタワー）

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。